

平成 19 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 中 村 屋
 代 表 者 名 代表取締役社長 長 沼 誠
 (コード番号 2204 東証・大証第1部)
 問 合 せ 先 取締役兼常務執行役員 小 林 政 志
 (電話番号 03-5454-7125)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月21日の決算発表時に公表した平成20年3月期中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 20年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,100	170	160	210	3円53銭
今 回 修 正 予 想 (B)	17,400	480	490	500	8円40銭
増 減 額 (B-A)	700	310	330	290	-
増 減 率 (%)	3.9	-	-	-	-
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月期中間)	18,038	178	165	130	2円18銭

2. 20年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,600	240	190	210	3円53銭
今 回 修 正 予 想 (B)	16,900	510	450	440	7円40銭
増 減 額 (B-A)	700	270	260	230	-
増 減 率 (%)	4.0	-	-	-	-
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月期中間)	17,518	244	199	132	2円22銭

3. 修正の理由

(1) 中間連結業績

当中間連結売上高については、長梅雨や梅雨明け後の記録的猛暑などの天候不順による消費減退の影響のほか、中華まんじゅうが立ち上げ期に気温などの影響もあり思うように売上高が伸びず、レストラン業界の不振による業務用食材の減収もあり、前回発表予想を下回る見込みであります。また、利益面に関しても、売上高減少による粗利益額の減少があったほか、原材料価格高騰の影響や、税制改正による減価償却負担増加などに加え、品質保証整備を目的とした設備投資、基幹業務を統合的に管理するERPシステム投資など積極的な投資負担もあり、前回発表予想を下回る見込みであります。

(2) 中間個別業績

中間個別業績については、中間連結業績とほぼ同様の内容によるものであります。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、業績については今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、通期の業績(連結・個別)については、当社グループの商品特性から来る季節性の影響から下半期に偏る傾向もあり、前回発表予想を予定しております。

以 上